

▼最優秀賞受賞作品（俳句）

水の色

村田 佐和子

ひしめき合ふ白魚汲めば水の色
毛糸玉転がし春の色を編む
うすらひの解けゆく音にちからあり
つばめくる^{くは}唧へしものをひからせて
またひとつ継ぎ足す^{むしろ}筵花の宴
暮れ残るもの一つに沙羅の花
真菰刈る音に加はる山の風
鳥渡る湖ひと色に暮れてゆく
飛ぶものの淋しき影や蓮枯るる
着ぶくれてまだ残りある好奇心

▼最優秀賞受賞作品（川柳）

思考を止めることなかれ

樋口りゑ

指一本で泳ぐ情報過多の海
いくつもの仮面のようなアカウント
考えることから遠ざけるスマホ
道草をするのも楽し紙の辞書
なにげない言葉も棘になるネット
ナビの言う通り曲がれば目的地
街並みが変われどナビはうるたえぬ
残額が半端でチャージするカード
痛い目に遭うぞと舌を出す小銭
人前でスマホを出さぬのも矜持